

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公開番号】特開2016-139478(P2016-139478A)

【公開日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-046

【出願番号】特願2015-12358(P2015-12358)

【国際特許分類】

H 01 R 13/64 (2006.01)

H 01 R 13/24 (2006.01)

【F I】

H 01 R 13/64

H 01 R 13/24

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月22日(2017.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

図3及び図4に示されるように、第1規定部144は、横方向において各側部140の内側に形成されている。具体的には、各側部140の内壁は、横方向において外側に向けて凹んでいる。その凹部の上内面が第1規定部144として機能している。第1規定部144の機能については、可動部材300についての説明において併せて説明する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

図5に示されるように、各コンタクト200は、被保持部210と、バネ部220と、接触部230と、支持部240とを有している。図2に示されるように、被保持部210は、保持部材100の保持部134に保持されている。図2及び図5に示されるように、バネ部220は、被保持部210から延びている。バネ部220は、弾性変形可能であり、バネ性を有している。接触部230と支持部240は、バネ部220により少なくとも上下方向に移動可能となるように支持されている。本実施の形態において、バネ部220と支持部240とは、後述するように、可動部材300を上下方向に移動可能となるように支持する支持部材250を構成している。換言すると、本実施の形態の支持部材250は、コンタクト200の一部として形成されている。